

差留権/リッチフィールド(講義) ; 増島六一郎(訳述) ; 山口正毅(編輯)

(英吉利法律講義録(1886(明治19)年度 第1年級))

このPDFファイルは、英吉利法律講義録(1886(明治19)年度 第1年級)(原装本デジタル・データ)から、差留権の部分を抽出して編集したものである。

2015年7月 中央大学大学史資料課

差留權

ばりすどる りちふいーるど講義  
ばりすどる 増島六一郎譯述

校 友 山 口 正 毅編輯

第一回

諸君余ハ曩キニ本校ヨリ諸君ノ爲メ講義ヲ致サントテ囑托セラレタ  
レトモ速カニ其依頼ニ應セサリシハ敢テ英吉利法律即余カ本國ノ法  
律ヲ講スルヲ以テ無益ナリト信シタルニアラス惟フニ英法ノ浩瀚ナ  
ルヤ余カ僅少ノ時間ヲ以テ之ヲ縮少シ講スルト實ニ容易ノ業事ニア  
ラサルヲ以テナリ

然レトモ今ヤ既ニ其囑托ニ應シ本日ヨリ諸君ト共ニ英法ヲ研究セン  
ト欲ス蓋シ英法ヲ學ヒ之レカ蘊奧ヲ極ムルトキハ諸君ノ智識ヲ開發

シ且英法ハ論理ニ適シ應用ニ便ナルヲ以テ諸君ヲ益スルヲ余カ確信  
シテ疑ハサル所ナリ

諸右ニ述ヘタルカ如ク英法ノ浩瀚ナルヤ今悉トク之ヲ講セント欲ス  
ルモ僅少ノ時間ヲ以テ能ク之ヲ爲シ得ル所ニアラス故ニ其中ヨリ最  
面白ク利益ノ大ナルモノニシテ且余カ學力ニ應シ諸君ノ解シ易カラ  
ンモノヲ撰ミテ之ヲ講シ以テ余カ諸君ニ對スルノ責任ヲ盡サントス  
然レトモ僅少ノ時間ヲ以テ面白クシテ且利益ノ大ナルモノヲ講セン  
トスルト是レ亦容易ノ業ニアラサレハ余ハ之レカ適當ナル學科ヲ撰  
擇スルニ於テ頗フル焦慮ヲナシ終ニ差留權ニ就キ講スルトノ最モ適  
當ナルヲ發見セリ蓋シ此差留權ヲ講シ爲メニ諸君ヲ利益スル所以ハ  
啻ニ差留權ノ何物タルヤヲ知ルノミナラス之ヲ研究スルト同時ニ財  
産ニ就キ各人ニ關スル權利義務ヲモ知ルトヲ得レハナリ

抑差留權トハ契約ニ因ルニアラス單ニ法律ノ推測ニ依リテ負債又ハ  
 約定ニ關スルノ義務ヲ盡サ、ル者アルトキハ之ヲ盡サシムルカ爲メ  
 動産又ハ不動産ヲ緊束スルノ權利ヲ謂フ

然レトモ此差留ノ權利アルカ爲メニ右ノ動産不動産ニ關スル所ノ所  
 有權ヲ其權利者ニ移轉セシムルモノニアラス  
 差留權ニ二種アリ

差留權ノ種類

第一 財産ヲ握有スルカ爲メ有スル差留權

第二 財産ヲ握有セスシテ有スル差留權

第一ノ財産ヲ握有スルカ爲メ有スル差留權ノ定義ヲ下ストキハ正當  
 ノ理由ヲ以テ他人ノ財産ヲ有スルトキ之レカ義務ヲ盡シ得ルニ至ル  
 マテ其財産ヲ差留置クノ權利ヲ謂フ

第二ノ財産ヲ有セスシテ有スル差留權トハ其財産所有主ニ負債又ハ

約定ニ關スル義務アルカ爲メ存スルモノナレトモ握有ナクシテ有スル差留權ヲ謂フ

第二ノ握有ナクシテ有スル差留權ヲ組織スルノ原素ハ甚混雜セルモノニシテ或場合ニ裁判々決ヨリ之ヲ得又或場合ニハ商業上ノ習慣ヨリ之ヲ得ルモノトス

此講義ニ於テ余ノ述ヘント欲スル所ハ專ラ第一ノ握有スルカ爲メ有スル差留權ナリ而シテ此差留權ハ英吉利ノ「common law」ヨリ起因シタルモノトス

第一ノ差留權ヲ分チテ二トナス

第一 特別差留權

第二 普通差留權

第一 特別差留權トハ或財産ニ關シテ起リタル負債義務アルトキハ

其義務償却ニ至ルマテ其財産ヲ差留ムルノ權利ヲ謂フ  
第二 普通差留權トハ相手間ニ取引アルカ爲メ其兩人間ニ存スル差  
引勘定終決ニ至ルマテ之ニ關スル財産ヲ差留ムルノ權利ヲ謂フ  
普通差留權ハ特別ナル商業上ノ習慣ヲ本トシテ起リタルモノナルヲ  
以テ裁判所ニ於テハ特別差留權ノ如ク常ニ之ヲ差留ムルノ權利ヲ與  
ヘサルモノトス故ニ普通差留權ニ在リテハ商業ノ習慣ニ基キテ特別  
ノ契約ヨリ起リタルヲテ證明セサルトキハ差留權ヲ得ル能ハサルモ  
ノトス  
然レトモ右ニ反シテ特別差留權ニ在リテハ「ちんもんろー」ニ基キタル  
ヲ以テ法律ハ常ニ此權利ニ力ヲ盡サンヲ務メリ  
以上述ヘタルカ如ク差留權ヲ區別シテ逐次之ヲ講セント欲スレトモ  
先契約ノ一種ナル動産委托中即質入ナルモノハ此差留權ト稍相類似

質入ト差  
留權トノ  
區別ヲ論  
ス

セルヲ以テ一應之ヲ述ヘントス  
或點ニ於テハ差留權ト質入トノ間ニ同一ナル所アリ又或點ニ於テハ  
異ナル所アリ其異ナル所ハ質入ハ明約ヲ以テスルモノナレトモ差留  
權ニ在リテハ明約セサルモ法律ノ認定ニ依リテ存スルモノトス而シ  
テ差留權ト質入ト同一ナル所ハ即其物品ヲ握有スルニヨリ二者共ニ  
法律ヲ以テ保護セラル、ヲ得ル一點ナリトス  
借質取主ノ權利ハ其財産ヲ貸金抵當ニ取り置クモノナレハ期限ニ至  
リ質入主ニ於テ義務ヲ盡ストキハ財産ヲ返還スルモノナレトモ若シ  
期限ニ至ルモ尙ホ義務ヲ盡サ、ルトキハ其財産ヲ賣却シ元利入費等  
ヲ引去リ餘金アレハ之ヲ物品所有主即質入主ニ返還セサルヘカラス  
差留權ヲ有スル人モ亦質取人モ其權利ヲ保護スルカ爲メ財産ヲ握有  
スルニ止ルモノニシテ所有權ニ至リテハ一モ之ヲ有スルコトナシ

夫レ斯ノ如ク差留權ヲ有スル人及質取主ノ權利ハ全ク自己ノ權利卽  
利益ヲ保護センカ爲メ財産ヲ握有スルヲ以テ若シ他人ノカ握有ヲ妨  
ケ其財産ヲ掠奪シタルモノアルトキハ之ヲ取戻スノ權利アレトモ其  
財産ノ所有權ヲ取戻スニハアラサルナリ

抑質入ノ何物タルヲ知ラントセハ彼ノ少壯ノ代言人等カ其初メテ代  
言ニ從事スルヤ多クハ未得意ノ少ナキヨリ從テ多分ノ收入ヲ得ル能  
ハサルカ爲メ己ムヲ得ス時計又ハ指環ヲ質入スルヲ以テ最適切ナル  
例トス故ニ代言人等ハ始メテ其時計又ハ指環ヲ質入シ自ラ質入ノ何  
物タルヲ學ヒ尙ホ一步ヲ進ミテ他ノ財産ヲ質入スルヲ知ルニ至ル  
ハシ然レトモ此質入ノ事タル固ヨリ本講ト密接ノ關係アルニアラサ  
レハ今之ヲ詳説スルノ煩ヲナサハルヘシ右ハ唯質入ノ一例トシテ引  
證シタルニ過キサルノミ



以上述ヘタル所ハ余カ諸君ニ向テ講セントスル科目ノ大畧ナリ是ヨ  
 リ本論ニ入り專ラ差留權ニ關スル法律ヲ述ヘント欲ス諸君宜シク注  
 意アラントナ望ム

余ハ既ニ述ヘタルカ如ク差留權ハ財産ヲ握有スルカ爲メ存スルモノ  
 ナルヲ以テ若シ其握有ヲ失フトキハ從テ差留權モ共ニ失フモノトス  
 何トナレハ若シ取引シタル相手間ニ於テ其差留權ノ中斷セラレタル  
 カ又ハ永續セサルコトヲ證明スルトキハ之ヲ差留ムルヲ能ハサレハ  
 ナリ故ニ裁判所ニ於テハ常ニ其握有アルヤ否ヤニ付キ最注意スルモ  
 ノナリ

今差留權ノ起ル場合ヲ舉グレハ即競馬ニ使用センカ爲メ或馬ヲ調成  
 セントキ馬喰ニ依頼セリ故ニ馬喰ハ其依頼ニ應シ馬ヲ調成シタルニ  
 所有者ハ之カ入費ヲ拂ハサルトキハ馬喰ハ其馬ヲ差留ムル權利アル

モノトス  
左レハ馬喰ハ其特別ノ技藝ニヨリ馬ヲ仕立テタルニ所有者ニ於テ其  
入費ヲ拂ハサルトキハ馬ヲ差留メ之ヲ返還セサルコトヲ得レトモ若  
シ最初所有主タル者豫シメ春期又ハ秋期ノ競馬ニ使用センコトヲ約  
シ其間他人ヲシテ馴致セシメンコトヲ依頼シタルトキハ一旦握有ヲ  
中斷シタルモノナレハ裁判所ハ容易ニ差留權ヲ與ヘタルモノトス  
特別差留權ハ或ル時ニ限り請求スルヲ得ル金額ニ對シテ有スルモ  
ノナリ故ニ其權利ヲ保護スルカ爲メ費シタル金額ニ付キ差留權ナキ  
モノトス何トナレハ既ニ述ヘタルカ如ク法律上財産ヲ差留ムルコト  
ヲ請求スルヲ得ルト雖自己ノ利益ヲ保護スルカ爲メ持主ノ意思ニ逆  
ラヒ強ヒテ自ラ費シタルモノナルヲ以テ法律上之ヲ認メサルモノナ  
レハナリ然レトモ特約アル場合ニハ此限ニアラス

右ハ質入ノ場合ト異ナルモノニシテ質入ニ在リテハ諸雜費ヲ請求スルノ權アルモノトス蓋シ其異ナル所以ハ質入ハ明言シタル特別契約ヨリ成立スルモノナレハ其諸雜費ヲ支拂フノ義務アレトモ差留權ハ特約アルニアラス只法律上之ヲ認メタルモノナルヲ以テ其差留ムルニ付キ費シタル金額ニ至ルマテ之ヲ請求スルノ權ヲ認メサルモノナレハナリ

此問題ニ關シ古來種々ノ議論アリタルヲナレトモ遂ニブリチス、エンパイヤ、シッピングコンパニー對ソームスノ訴訟ニ於テ一決セラレタリ抑右訴訟ニ於テ原告ハ「ソームス」ナル造船人ニ船舶ノ「修覆」ヲ依頼セリ然ルニ「ソームス」ヨリ原告ヨリ通知シテ曰ク速ニ賃錢ヲ支拂ハサルニ於テハ一日百弗ツ、ノ「ドック」料ヲ受取ント依テ原告ハ其賃錢ヲ拂ヒタル後正否ヲ法廷ニテ爭ハント思考シ先其船舶ヲ受取ル丈ケノ賃錢

ナ支拂ヒ而シテ之ヲ法廷ニ訴ヘタリ  
 然ルニ裁判所ニ於テ之カ判決ヲ下シテ曰ク斯ル「ドック」料ヲ受取ント  
 スルハ必竟差留權ヲ保護スルカ爲メナレハ之ヲ要求スルヲ得サル  
 モノナリト  
 此時判事長説明シテ曰ク斯ル時ハ被告ニ舉證ノ責任アリ即船舶ヲ差  
 留ムルニ當リ之カ入費ヲ支拂フノ規則アリト證明ヲナスト是ナリ且  
 此請求タルヤ契約ニ基キタリトスルモ私犯ニ基キタリトスルモ之ヲ  
 定ムルコト最モ困難ナリ蓋持主ハ其意ニ反シテ船舶ヲ差留メラレハ  
 カラ其差留入費ヲ支拂フノ約定アリト認ムルヲ能ハス如何トナレハ  
 此契約ヲ支フルノ「コンシダレ」シヨ「即約因」ノ存スルヲアサレハ  
 ナリ而シテ又私犯ニモ基キタルモノトスルヲ得ス何トナレハ船主ハ  
 「ソームス」ノ術中ニ陷レラレ爲メニ其握有ヲ取戻スヲ得サリシニヨ

差留權

差留權ニ  
關スル一  
般ノ規則

リ右ノ船舶ハ「ソームス」ノ手ニ殘リタルモノニシテ最初「ソームス」ニ於  
 テ不法ニ之ヲ留メ置キタルモノニアラサレハナリ故ニ若シ「ソームス」  
 ノ請求ヲ支ヘント欲セハ唯船主ヨリ「ソームス」ニ對シテ存スル所ノ負  
 債金アリト云フヨリ他ニ道ナキモノナリト  
 右ノ裁判タルヤ管ニ差留權ノ何物タルヲ説明シタルノミナラス一種  
 特別ノ契約タルヲ自ラ知ルヲ得ヘシ  
 此ヨリ差留權ニ關スル一般ノ規則ヲ述ヘン  
 凡ソ財産ヲ差留ムルニハ之ニ對スル負債アルコトノ事實ナカルヘカラ  
 ス譬ヘハ銀行營業者ハ特別負債ノ爲メ抵當ヲ取り置キタル場合ニ當  
 リ負債主ニ於テ其負債ヲ辨償シタルモ亦其外ニ負債アルトキハ銀行  
 ハ其抵當財産ヲ差留ムルノ普通差留權ヲ有スルモノトス  
 然レトモ右ニ反シテ組合商社ハ銀行ニ對シテ負債アリタル場合ニ際

シ其社員モ亦同銀行ニ對シテ負債アルカ爲メ抵當ヲ入レタル場合ニ於テハ其抵當財産ハ特別ノモノナルヲ以テ組合商社ニ負債アルヲ理由トナシ社員ノ抵當財産ヲ差留ムルノ權ナキモノトス何トナレハ銀行ニ於テ商社ト取引シタルハ其社ニ信用ヲ措キタルモノニシテ或社員ト取引シタルハ其社員一己人ヲ信用シタルモノナレハ其性質タル自ラ異ナルヲ以テナリ

又一ノ例ハ甲者某銀行ニ二口ノ預金アリ而シテ一口ハ甲者自身ノ名義ヲ以テシ一口ハ「トラスチー」ノ名義ヲ以テシタルトキハ銀行ニ於テ甲者ノ負債ノ爲メ「トラスチー」ノ預金ヲ差留ムルヲ得サルモノトス又持主ヨリ財産ヲ渡シタル片一般ノ取引ニ關係シタルニアラサレハ之ヲ差留ムルヲ得ス故ニ特別ノ關係ナキ契約ニ對シテハ差留ムルノ權ナキモノトス例令ハ旅宿屋ノ主人ハ其旅人ノ携帶品ニ對シテハ

差留權アレハ携帶品ニアラサル財産ヲ預リタルトキハ其財産ニ對シ  
テハ之ヲ差留ムルノ權存スルコトナシ  
以上述ヘタル所ハ差留權ニ關スル大意ナリトス次回ニ於テハ差留權  
ニ關スル人ノ資格利害等ヲ講述セントス尙ホ終リニ臨ミ一言スヘキ  
コトアリ握有トハ何ソヤト云フコト是ナリ  
抑々差留權ヲ組成スルニハ握有アルコトヲ要スレトモ此握有ナルモノハ  
必ラスシモ現ニ手ニ握リ居ルト云フノミニアラス其代理人之ヲ預ル  
モ矢張本人ノ握有セルト同一ナルモノトス即船長ハ船主ニ代リテ船  
舶又ハ其他ノ物品ヲ握有スルモノナリ又鎖鑰ヲ有スル并ハ倉庫ヲ握  
有セルト同シク又税關ニ對シ此財産ハ余カ所有品ナリト通知スルト  
キハ其財産ハ例令税關ノ手ニアルモ尙其人ノ握有ヲ保ツモノトスル  
カ

如キ是ナリ

第二回

前回ニ於テ動産差留ニ關スル一般ノ理ヲ説明シ特ニ「ボツセツソリ」  
 卽握有ノ必要ナル差留權ヲ論シタリ今回ニ於テハ差留權ノ爲メニ利  
 益ヲ受ケ又其差留權ノ爲メニ左右セラル、人ノ權利ヲ簡單ニ講セン  
 トス

凡之ヲ講スルニ徒ラニ冗長ナル議論ヲナサンヨリハ寧ロ著ルシキ一  
 例ヲ擧ケ之ヲ説明スルノ簡易ニシテ且了解シ易キニ若カサルナリ故  
 ニ余ハ差留ニ關スル所ノ最著ルシキ例ヲ掲ケテ左ニ之ヲ説明セン  
 諸君余ハ今旅宿屋<sup>イレキーパー</sup>ノ主人ノ有スル差留權ト運送人<sup>コンメンキヤリヤ</sup>ノ有スル差留權ト  
 ノ二例ヲ取りテ余カ説明ノ資料トナサントス若夫レ此二例ニシテ了  
 解スルヲ得ハ其他ノ人々ハ如何ニシテ差留權ヲ適用スルカ容易ニ之



旅宿屋ハ  
旅客ノ荷  
物ニ差留  
權ヲ有ス

ナ知ルコトヲ得ヘシ且余カ此二例ヲ舉ケテ説明セント欲スルハ蓋  
んもんろ<sup>一</sup>主義ノ最其力ヲ逞フスルノ場合ナレハナリ  
借<sup>一</sup>こんもんろ<sup>一</sup>ノ主義ニヨルトキハ凡旅宿屋<sup>イシキヤパー</sup>ハ何人ニ限ラス之ヲ宿  
ラシメ又其望ニ應シテ物品ヲ供セサルヘカラス  
古昔英國ニ於テ法律上財産ノ保護ヲ受クルコト今日日本ニテ之カ保  
護ヲ受クルヨリモ頗ル薄カリシ且當時ノ如ク巡查等ノ設ケナキヲ以  
テ客人ハ旅宿屋ニテ竊盜ニ遭フコト最甚シク彼ノ小説家ノ記スル所  
ニヨレバ當時ニ在テハ旅宿屋ハ往々盜賊ノ幫助ヲナセシモノ、如ク  
見ユルハ強チ理ナキニアラサルナリ  
其後英國法律ハ旅宿屋ニ非常ニ重大ナル責任ヲ負ハシメ即天災若ク  
ハ人力ヲ以テ抗拒スヘカラサルトキノ外ハ如何ナル場合ト雖客ノ荷  
物ヲ保護シ若之ヲ紛失セシメタルトキハ其責任ヲ負ハサルヘカラサ

ルコトトセリ如ク重大ナル責任ヲ有スルニヨリ法律ハ此義務ニ報ユ  
旅宿屋ハ斯ノ如ク重大ナル責任ヲ有スルニヨリ法律ハ此義務ニ報ユ  
ルニ一ノ權利ヲ以テセリ即旅客カ其宿賃又ハ食料等ヲ支拂ハサルニ  
於テハ旅宿屋ハ直ニ旅客ノ荷物ヲ差留ムルコトヲ得ルノ權利ヲ與ヘタ  
ルコト是ナリ  
旅宿屋ハ右ノ如キ權利ヲ與ヘラレタルヲ以テ凡旅客ノ持來リタル荷  
物ニ就テハ其正不正ヲ取調ルニ及ハス唯其荷物ヲ受取ルニ當リ客ト  
旅宿屋トノ資格ヲ以テ受取タルモノナレハ其荷物ニ對シテ總テ差留  
權ヲ有スルナリ然レトモ旅宿屋ニ於テ若シ客ノ行爲又ハ資格ニ據リ  
其持來リタル荷物旅客ノ所有物ニアラスシテ他人ノ爲メニ其物品ヲ  
預リタルコトヲ知リタルトキハ其物品ニ對シテハ差留權ヲ有スルコ  
トナシ近年マテハ旅宿屋ノ權利ハ單ニ其物品ヲ差留ムルニ止マリ敢

運送人ハ  
コンモンキヤリヤ  
運送シタ  
ル荷物ニ  
差留權ア  
リ

テ之ヲ賣却スルノ權利ヲ有セザリシカ一千八百七十五年ニ至リ更ニ  
布告ヲ以テ其差留物品ヲ賣却スルノ權利ヲ與ヘタリ  
其以前一千八百六十年ニ於テ客ト旅宿屋トノ間ニ特約ヲ設ケ即客ニ  
於テ特ニ荷物ヲ委托スル旨ヲ示シタル場合ノ外ハ旅宿屋ノ「乙んもん  
ろ」ノ責任ヲ縮メ(家畜ノ外)凡三十磅即チ日本金ニテ百五十圓マテハ  
責任ヲ負ヘトモ其他ハ實地怠慢又ハ惡意アリタル場合ノ外ハ責任ヲ  
負ハサルコトトナレリ  
次ニ運送人ニ就テ説明セン運送人モ亦昔時ハ旅宿屋ト同シク盜賊ト  
共謀シテ屢客ノ荷物ヲ掠奪セリト謂フ  
僅「コンモンキヤリヤ」トハ英國內ニ於テ他人ノ委托ニ應シ相當ノ賃  
錢ヲ得テ或ル物品ヲ一ノ場所ヨリ他ノ場所ヘ運送スルコトヲ職業ト  
スル者ヲ謂フ故ニ馬車又ハ河舟又ハ沿海ニ舟ヲ以テ荷物ヲ運送スル

コトヲ職業トスル者モ亦「コンモンキヤリヤ」ノ一種トス然レトモ人  
ヲ運送スルコトヲ業トスル者ハ必スシモ「コンモンキヤリヤ」ト言フ  
ヘカラス故ニ古昔ニ在テハ郵便馬車會社近世ノ鐵道會社ノ如キ荷物  
ヲ運送スルモノハ「コンモンキヤリヤ」ナレトモ人ヲ運送スルニ就テ  
ハ「コンモンキヤリヤ」ニアラス  
「コンモンキヤリヤ」ノ責任ハ「インキーパー」ノ責任ト同シク委託セラ  
レタル荷物ヲ大切ニ保護セサルヘカラスナルノ責任ヲ有シ若キ荷物ヲ  
失フトキハ之ノ價ヲ爲サヘルヘカラス然レトモ天災又ハ敵人ノ爲メ  
ニ奪ハレタルカ如キ到底人力ノ如何トモスル能ハサル場合ハ此ノ限  
ニアラス  
又「コンモンキヤリヤ」ハ「インキーパー」ト同一ノ權利ヲ有スルヲ以テ  
若運賃ヲ支拂ハサルニ於テハ其運送荷物ヲ差留ムルノ權利アリ然レ

トモ前回既ニ講セシ如ク差留權ハ物品ヲ握有スルニヨリ有スルモノ  
ナレハ運送者ハ一旦其荷物ヲ渡シタル以上ハ通常ノ訴訟ニ據テ其代  
金ヲ請求スルノ外ナシ

「コンモンキヤリヤ」ハ「インキーパー」ト同シク荷物差留ノ權利ヲ有ス  
ルヲ以テ隨テ其責任亦重大ナリトス然レトモ其責任ノ大小輕重ハ時  
ニヨリテ異ナルモノニシテ即國富ミ財産ノ増殖ニ隨ヒ差異アルモノ  
ナレハ固ヨリ一定セルモノニアラス要スルニ國ノ進歩ニ從ヒ其責任  
モ亦重キヲ加フト雖古昔ヨリ法律ノ與ヘタル差留權ハ今尙ホ依然ト  
シテ存スルモノトス

國運次第ニ進ミ財産ノ種類増加スルニ從ヒ「コンモンキヤリヤ」ハ金  
銀又ハ其他ノ寶物ヲ運送スルコトヲ委托セラル、モノナレハ特別ノ條  
約ヲ結ヒテ其責任ヲ制限スルニ至レリ即一ノ微細ナル物品ナリト雖

若貴重ノ物ナリセハ之ヲ失フニ於テハ其損害ヲ償フカ爲メ止ムヲ得  
ス運送人ノ身代限ヲナスカ如キアリ故ニ其責任ヲ制限スルハ最モ必  
要ナルコトトス而シテ其責任ヲ制限スルニハ豫シメ規則ヲ定メ運送  
受托所ノ門前ニ表札ヲ掲ケ其責任ヲ負ハサルコトヲ示スカ如キ道ヲ  
用ヒサルヘカラス故ニ受托者ニ於テ若「コンモンキヤリヤ」ニ責任ヲ  
負ハセントセハ特別ニ保護金ヲ出サ、ルヘカラスルノ慣習トナレリ  
然レトモ其表札ハ實地委託者ノ知リタル證アルヲ要ス故ニ若委託者  
ニ於テ其表札ヲ知ラサル時ハ運送人ハ之カ責任ヲ免カル、能ハサル  
カ爲メ往々争ヒノ起ルコトアリ  
法律ハ「コンモンキヤリヤ」ニ關スル責任ヲ定ムルカ爲メ一千八百三  
十年一ノ布告ヲ發セリ其布告ノ定ムル所ニ據レハ金銀塊、絹、毛皮類ノ  
荷物ニ對シテハ委託者豫シメ貴重品ナルコトヲ告示シテ特別ノ保險

金ヲ拂フタル外ハ十磅卽チ五十圓以外ハ責任ヲ負ハサルコト、セリ  
 其後十年ヲ經ルニ至リ英國ニテ物品ヲ運送スルニハ一般ニ鐵道ヲ以  
 テスルコトトナリシカ故ニ鐵道會社ノ責任モ亦一千八百三十年ノ布  
 告ニ據ルコトトナレリ  
 次ニ船舶ノ持主ノ責任如何ヲ論セン固ヨリ余ノ講スル所ハ差留權ニ  
 アレトモ今他ノ事柄ヲ引證スルハ差留權ノ何物タルヤヲ講スルニ必  
 要ナルヲ以テナリ英國判事ノ言ニ曰ク船主ハ必シモ運送人ト謂ヘカ  
 ラス何トナレハ萬里ノ波濤ヲ超ヘテ職業スルモノナレハナリト  
 抑船主ハ其運送賃ヲ取立ルノ權利アリ之ヲ英語ニテ「フレート」ト謂フ  
 「フレート」トハ船ヲ以テ物品ヲ安全ニ運送スル爲メノ報酬トシテ受ク  
 ル所ノ金額ヲ謂フ故ニ若其荷物航海中ニ紛失シ到着スヘキ所ニ達セ  
 ザルトキハ「フレート」ヲ得ルコト能ハス其詳書ハ前セシメタルニ

今説明シタル所ハ最確説ナル定義ヲ下シタルモノナレトモ元來「ブレ  
 ト」ナル語ハ廣ク用キルコトアリ故ニ「ブレート」ナル語ハ運送人カ取立  
 ル賃錢ヲミナラス往々運送スル所ノ物品ヲ指スコトアリ蓋「ブレート」  
 ナル語ヲ斯ル意義ニ用キルハ真正ノ意義ヲ離レテ用キタルモノナリ  
 トスニ「ブレート」ハ「ブレート」ニ於テ「ブレート」ハ「ブレート」ニ於テ  
 諸君此「ブレート」ナル語ハ如何ナルコトナルカヲ記臆セサルヘカラス  
 余ハ既ニ述ヘタルカ如ク「インキトパー」ノ物品ヲ預ルヤ其「インキトパ  
 ー」トシテ預リタルモノニアラスシテ倉敷料ヲ取テ預リタルモノナル  
 トキハ「インキトパー」ノ支配ニアラサルト同シク「ブレート」ニ於ケルモ  
 亦然リトス何トナレハ一般ノ法律ヲ離レ特別ノ契約ヲナシタルトキ  
 ハ法律ハ其特別ノ契約ニ假スニ其定ムル所ノ權力ヲ以テセサルナリ  
 故ニ其契約中ニ差留ノ如何ヲ記載セサルトキハ法律ハ該契約中ニ差



留權ハ存セサルモノトノ推測ヲ下タスモノトス  
 今其一例ヲ舉グレハ或ル荷物ヲ「リバプール」ヨリ「オーストレリヤ」ニ送  
 ル約ヲナシ而シテ其「フレート」ハ「リバプール」出港ノ一ヶ月後荷物ノ到  
 着スルト否トヲ問ハス之ヲ拂フコトヲ約セリ且其荷送り狀ヲ他人ニ  
 讓渡セシニヨリ荷物ハ他人ノ所有トナレリ然ルニ其約定シタル「フレ  
 ート」ヲ拂ハサリシヲ以テ其荷物ヲ差留ムルノ權アリトノ旨ヲ以テ出  
 訴セリ今此荷送狀ヲ按スルニ「フレート」ニ反スル所二點アリ第一、一ヶ  
 月後ニ渡ストノ事第二、荷物ノ到着スルト否トヲ問ハサルトノ事是ナ  
 リ故ニ此訴訟ニ就テ「乙んもんろ」ノ規則ニ據テ船主ハ差留權ヲ有  
 セスシテ他ノ理由ニ據リ出訴セサルヘカヲサル事トナレリ判事曰ク  
 凡差留權ノ起ルニ二箇アリ一ハ法律ニ因リ一ハ契約ニ因ルト  
 抑「フレート」ハ荷物ヲ安全ニ送達シタル時ニノミ得ルモノトス而シテ

若荷物ヲ安全ニ送達スルト雖「フレイト」ヲ拂ハサルトキハ船主ハ其荷物ヲ差留ムルノ權アリ此等ノ規則ハ一般ノ法律ニヨリテ獨リ効力ヲ有スルモノナリ故ニ凡報酬ニシテ船ノ出ル前ニ拂フカ如キハ「フレイト」ト記載シアルモ「フレイト」ニアラス何トナレハ運送賃ナルモノハ荷物ヲ送達シテ後始メテ得ル所ノモノナレハナリ

故ニ斯ノ如キ場合ニ於テハ船主ニ差留權ノ存スルコトヲ明ニ約定書ニ記スルカ又ハ「フレイト」ト同一ナル性質ヲ有スル報酬ヲ得ルノ約束アリテ差留權ニ屬スル權利一切ハ尙ホ之ヲ存スルノ意アルカ如キトキノミ其權利存スルモノトス

第三二回

前回ニ於テハ「フレイト」ナル語ヲ用フルニ當リ運送賃トシテ用フルトキト他ノ義ヲ以テ用フルトキトノ差異アルコトヲ述ヘ終レリ今回ニ

於テハ船主カ其船舶ヲ使用スルノ方法ヲ簡單ニ講述セントス此事タ  
 ル素ヨリ差留權ヲ講スルニ當リ左程關係アルニアラサレトモ之ヲ知  
 ルトキハ英國ノ船主如何ニシテ船舶ヲ使用スカ又如何ニシテ商業ヲ  
 營ムカヲ了解スルヲ得ヘキヲ以テ後來諸君ハ實地應用ヲナスニ當リ  
 テモ大ニ益スル所アルヘシ一  
 船舶ヲ使用スル方法ノ其一ハ他人ノ爲メニ荷物ヲ運送セントシテ船  
 舶ヲ海上ニ浮フルトキ卽是レ船主ハ「コンモンキヤリヤ」ノ位地ニア  
 リテ業ヲ營ムモノトス今著シキ例ヲ舉クレハ日本郵船會社、又ハ「ピ  
 ー」會社ノ如キハ一般ノ運送ニ供スルカ爲メニ船舶ヲ使用スルノ類  
 ナリ  
 又他ノ方法ニ於テハ船主ハ船舶ヲ貸與シ其約束ヲ定ムルニ英語ノ所  
 謂「チャートルバ」ト「ノ位地」ニ在テ爲ストキノ如キ是ナリ此方法ニ

依ルトキハ船主ハ或ル期限相當ノ賃錢ヲ受取り其船舶ヲ貸與スルコト恰モ普通ノ貸借ト同一ナルヲ以テ其期限間ハ全ク所持權ヲ移轉スルモノトス此場合ニ於テハ船主ハ其船舶ノ支配權ヲ借主ニ委任スルモノナレハ船主ニ握有ナキヲ以テ差留權ノ存スルコトナシ最普通ノ「チャートルパーティー」約束ノ種類ハ船舶ノ全部又ハ幾部ヲ他人ニ貸與シ之ヲ取扱ハシムルモノトス而シテ其條約タル船主ハ航海ニ必要ナル船具及ヒ船長水夫等ヲ取揃ヘタル上貸シ渡スモノナリ又或ル期限間又ハ或ル場所ヨリ或ル場所ニマテ航海スルノ約定ヲナスコトアリ此等ノ場合ニ於テハ船長ハ船主ノ代理人ナルヲ以テ船主ハ船舶ノ握有ヲ存スルモノト見做スコトヲ得ルカ故ニ若運賃ヲ支拂ハサルトキハ其荷物ヲ差留メ辨償ヲ求ムルノ權アリ

又或ル期限ヲ定メテ約定スルコトアリ之ニ對シテ船舶ヲ借り入ルハ

所ノ相手卽チヤートラルハ其約定シタル或ル期限内ニ荷物ヲ積込ム  
 ノ約定ヲナスモノトス蓋此約定タル荷物積込ノ違約ヲ防カンカ爲メ  
 ナリ故ニチヤートラル其約定ヲ履行シ其荷物ヲ積入ルノ義務アリ  
 若之カ義務ヲ怠ルトキハ其責任ヲ負擔セサルヘカラス此約定ニヨリ  
 「チヤートラル」ハ一噸ニ付キ幾弗ノ使用賃ヲ支拂フコトヲ約スルモノ  
 ナレハ多分ノ利益アルトキハ借主之ヲ得若シ損失アルトキハ之ヲ辨  
 償セサルヘカラス斯ノ如キ場合ヨリ頗フル混雜セル事件ノ起ルコト  
 アリ  
 凡差留權ヲ存スルニ必要ナルコトハ差留權ヲ得ヘキ本人又ハ代理人  
 ナリテ其財産ノ握有ヲ自己ノ權内ニ存スルカ又ハ運賃ヲ拂フハ航海  
 ノ前後ニアルヤ否ヤヲ吟味スルニアルハ諸君既ニ了知セラルコト  
 ナラン今例ヲ示セハ印度ノかるかたヨリ綿ヲ龍動ニ送ル爲メ船ヲ借

リ受ケ其船賃トシテ三百磅即チ日本ノ千五百圓餘ヲ拂ヒ其餘ノ殘金ハ爲替手形ヲ以テ仕拂フヘキコトヲ約セリ然ルニ航海中借主ハ破産シタルヲ以テ船主ハ其荷物ヲ差留メント請求セリ然レトモ前後二度ニ賃金ヲ支拂フノ規則ナキヲ以テ該荷物ヲ差留ムルコト能ハスト裁判セラレタリ

右ノ例ト少シク異ナリタル事實ナレトモ全ク反對ノ裁判アリタル場合アリ即チ或ル荷物ノ龍動ニ到着後船賃ヲ仕拂フノ約ヲ以テ銀行券ト同一ニシテ最モ信用アル且ツ充分有効ノ手形ヲ振出シタリ此場合ニ於テ船主ハ差留權アリト裁判セラレタリ何トナレハ荷物ハ船賃仕拂ト共ニ引渡ストノ約アルモノト看做セハナリ

英吉利法律ノ原則トシテ物ヲ借ルカ又ハ負債ヲ爲ス如キ義務ノ存スルトキニ相手ノ者爲替手形ヲ與フルトキハ前約ヲ打消スノ原由トナ

ルモノナリ何トナレハ爲替手形ニ引受人トシテカ又ハ裏書人トシテ  
 記名アル負債主ハ所謂「てんしどれーしよん」ヲ與ヘタルモノト見做セ  
 ハナリ

素ヨリ予ハ茲ニ此「ちやーどる」トて「又」ハ其他ノ約定ニ關シテ原理  
 ナ詳述スヘキモノニアラスト雖モ今其大要ヲ述フヘシ

蓋シ「ちやーどる」トて「タル」荷物到着ノ上賃金ヲ拂フヘキカ或ハ其  
 約束ヲ爲シタル當時之ヲ拂フヘキモノナルヤヲ考フルコト最モ肝要  
 ナリ今之ヲ一見スルトキハ容易ニ判定スヘカラサル場合アリ然レト  
 モ一千八百六十二年ノ條例ヲ以テ船主ヲ保護シ倉庫會社ヘ其船賃ニ  
 相當スル金額ヲ預ケシメ以テ握有權ヲ保護スルコト、セリ此布告ニ  
 依リ龍動ノミナラス其他ノ諸港及ヒ殖民地ニテモ倉庫會社ヲ設立シ  
 之ニ荷物又ハ相當ノ金額ヲ預ケ以テ充分ナル保護ヲ與ヘリ今如何シ

テ倉庫會社へ預ケ置クカ其手續ヲ述フルハ敢テ無益ノ事ニアラサル  
ヘシ

右ノ布告ニ由リテ船主又ハ船長ハ之カ荷物ヲ倉庫會社ニ積揚ルコト  
ヲ得ルノミナラス若シ荷主ニ於テ「ふれ」トノ仕拂ナキトキハ其仕拂  
ナキ旨ヲ倉庫ノ持主ニ通知シ持主ヲシテ其荷物ヲ留置セシメ以テ差  
留權ヲ保護スルモノトス而シテ倉庫ノ持主ニ於テ之ヲ留メ置カサル  
トキハ其差留權消失スルヲ以テ倉主ニ對シテ損害ヲ要求スルモノト  
ス若シ又荷受主ニ於テ其荷物ト同額ノ金圓ヲ倉庫會社ニ預ケタルト  
キハ差留權消失スルモノトス斯ノ如ク荷受主カ倉主ニ預ケタル後十  
五日内ニ賃錢ヲ拂ハス又其預金ヲ船主ニ渡スヘカラストノ請求ナキ  
トキハ該金圓ハ船主ノ請求次第之ヲ渡シテ可ナリ若シ金ヲ預ケシ人  
通知ヲナシ幾干ノ金額ヲ拂フヘシト云ヒタルトキハ之ヲ船主ニ拂ヒ



尙三十日ヲ經テ何等ノ事柄モ生セサルトキハ餘金ハ之ヲ預主ニ拂戻  
 スモノトス若シ又預金モナク仕拂金モナクシテ既ニ九十日ヲ過クル  
 トキハ倉主ハ其荷物ヲ賣却シ而シテ賃錢ヲ船主ニ拂フヘキモノトス  
 此布告ニヨリ持主ハ其入費ニ對シテ荷物差留ノ權ヲ有セリ要スルニ  
 該布告タル取引ヲ確實ナラシメ商船ノ業ヲ獎勵スルニ出テタルモノ  
 ト云フヘシ

今諸君ノ便利ヲ計リ左ニ法律上特別差留權ヲ有スル人々ノ目錄ヲ擧  
 ケン

- 第一 會計檢査業者ハ其帳簿ニ對シテ特別差留權ヲ有ス
- 第二 仲裁人ハ其言渡シタル書類ニ對シテ特別差留權ヲ有ス
- 第三 競賣人ハ其賣揚高ニ對シテ特別差留權ヲ有ス
- 第四 酒ノ預リ人ハ倉敷料ノ爲メ其酒ニ對シテ特別差留權ヲ有ス

- 第五 馬車製造人ハ其修繕シタル馬車ニ對シテ特別差留權ヲ有ス
- 第六 代言人ハ其書類ニ對シテ特別差留權ヲ有ス
- 第七 染物屋ハ其染物ニ對シテ特別差留權ヲ有ス
- 第八 馬ノ金靴師ハ其馬ニ對シテ特別差留權ヲ有ス
- 第九 馬ヲ馴致シ又ハ競馬ニ使用スル爲メ馬ヲ仕立ツルモノハ其馬ニ對シテ特別差留權ヲ有ス
- 第十 水車ヲ以テ米ヲ舂クモノハ其米ニ對シテ特別差留權ヲ有ス
- 第十一 印刷師ハ其印刷セシ物品ニ對シテ特別差留權ヲ有ス
- 第十二 海中ニ於テ荷物ヲ救ヒ上ゲタル人ハ賞與金ノ爲メ其荷物ニ對シテ特別差留權アリ
- 第十三 船舶ノ製造人ハ其製造又ハ修覆シタル船舶ニ對シテ特別差留權ヲ有ス

第十四 仕立屋ハ其仕立タル衣類ニ對シテ特別差留權ヲ有ス

第十五 遠方ニアル人ヨリ依頼ヲ受ケタル代理人ハ其送致アリシ

書類ニ對シテ差留權アリ

第十六 銀行ヲ營業トスル人ハ負債主ニ對シテ特別差留權ヲ有ス

次回ニ於テハ買主タルモノノ代價ヲ仕拂ハサルトキハ賣主其物品ニ對シテ差留權ヲ有スル事柄ヲ述フ可シ

#### 第四回

永ク諸君ト面會スルヲ得サリシカ前日ニ比シテ今日ハ大ニ生徒諸君ノ増サレシハ皆余カ友人ナル本校員諸氏ノ勉強ニ由リテ然リシコトナラン

回顧スレハ先回ノ講義ニ於テハ習慣法上差留權ヲ有スル人ノ目錄ヲ掲ケテ終レリ今日ヨリハ夫ノ大切ナル衡平法上之ニ關スル緊要ノ事

柄ヲ講述セント欲スル以前ニ於テ先ツ銀行ノ取引先ニ對シ其預ケ置  
ク所ノ抵當物品ニ關スル担保ノ權利并ニ先方ノ者ノ有スル權利即チ  
双方ノ取引ヨリ生スル損失ノ補償ニ充テン爲メニ備フル所ノ抵當物  
品ニ關スル權利義務ノ事項ヲ論セントス

銀行トハ諸君モ既ニ知ラル、如ク金錢ヲ取扱フ所ニシテ其沿革ノ如  
キハ特更ニ茲ニ説明スルヲ必要トセサルナリ銀行ハ金錢ノ取扱ヲナ  
スモノニシテ其欠クヘカラサルモノナルコト及其商業ノ何タルコト  
ハ人ノ能ク知ル所ナリ銀行ハ商業ニ利益スルモノニシテ銀行ナケレ  
ハ商業盛ニ行ハレサルナリ即チ銀行ハ凡テノ商賣ヲ補佐連續スルモ  
ノト謂フ可シ而シテ今日ノ銀行ハ金ノミナラス商賣人ニ代リテ其取  
引ヲ爲スモノ故ニ銀行ナケレハ活潑ナル商業行ハレサルナリ夫レ方  
今ノ勢ニテハ商賣ノ本業者ニシテ今ヤ金錢ヲ以テ取引スルコトヲ止

メ物品ヲ取扱フテ取引シ而シテ商人ヲ使用シテ取引スルノ有様ナレ  
 ハ商人ノ名アラサルモ其實銀行ノ代人ニ過キストハ人ノ屢言ヘル所  
 ナリ元來銀行ナルモノハ人ヨリ預ケラレタル金ヲ預リ其金ヲ保管シ  
 差圖ニ應シテ之ヲ拂戻スヲ業トス故ニ此簡單ナル業ニ從事シ取引人  
 ニ於テ借越ヲナサ、ルニ於テハ差留權ノ場合起ラサルナリ  
 銀行ハ此外動產不動產ヲ問ハス一切ノ財產及商賣品ニ至ルマテモ抵  
 當ニ取リテ金ヲ貸スヲ業トス故ニ銀行ハ取引人ノ預ケタル金錢及其  
 財產ニ關シ常ニ商賣スル間ニ於テ預リ其手ヲ過クル者ニ對シ差留權  
 ナ有ス

既ニ前段ニモ述ルカ如ク差留ニハ特別ト普通トノ二ツニ分レ其特別  
 ノ差留權トハ或ル馬ヲ飼フ爲メニ勞力スルコトアレハ之レニ報ユル  
 金ヲ拂ハサル中ハ其馬ヲ差押ヘルト云フカ如キモノニシテ特別一個

ノ取引ニ屬スル貨物等モ亦其物ニ對シテ差留權ヲ有スルカ如キコトニ  
普通ノ差留トハ銀行ノ商賣品ニ對シテ差留權ヲ有スルカ如キコトニ  
シテ銀行ノ其何レノ物品タルヲ問ハス一般通常ノ取引ニ關シ差留權  
ヲ有ス是其特別差留權ト異ナル所ニシテ銀行ハ普通ノ差留權ヲ有ス  
ルモノナリ  
全體ニ銀行ハ他ノ金ヲ預リ又預ケタル人引出シニ來ルトキハ之ヲ拂  
渡スヲ常トシ其預リ又ハ渡スコトアルカ爲メ銀行ト取引人ノ間ニ生  
スル貸借ノ關係アリ若シ預ケタル人此關係ノ計算差引ヲ越エ其預ケ  
金ヨリ多分ニ引出ストキハ預カリシ銀行ノ位置ヲ代ヘテ貸主トナル  
コトアリ斯ノ如ク預ケ人ハ餘分ノ金額ヲ銀行ヨリ引出シタルトキハ  
銀行ハ其額ニ對シテ差留權ヲ有スルモノトス  
若シ兼テ預ケアル抵當品アリテ一度貸借ノ額ヲ超ユルトキハ差留權

夫生シ而シテ其引越高ノ諸口同シカラサルモ引出シ過キタルモノ同  
 シ一口ノ計算中ナレハ右ノ抵當品ニ對シ差留權モ引キ續クモノトス  
 若シ又銀行ハ特種ノ金ニ對シテ抵當品ヲ取り置キ其物ノ定リアル場  
 合ニハ銀行ハ該品ニ對シテ一般ノ差留權ヲ有セサルナリ猶此事柄ヲ  
 明瞭ナラシメンカ爲メニ一例ヲ掲ケン  
 茲ニ銀行ニ對シテ千圓ノ負債ヲ帶フル者アリテ之ニ千五百圓ノ抵當  
 ヲ差入レ置キタリ此場合ニ銀行ハ他ノモノハ爲メニ此五百圓ヲ差押  
 フルロトヲ得ス何トナレハ是レハ通常ノ取引上ヨリ來ルモノニ非サ  
 ルヲ以テナリ通常ノモノナレハ一般取引ヲ爲ス際ニ餘分ノモノアレ  
 ハ之ヲ差押ヘテ他ノ口ノ辨償ニ充ルコトヲ得レトモ特別ノ契約ヲ以  
 テ抵當ニ差入レタルモノハ差押ヘルコト能ハサルモノトス故ニ一般  
 ノ說ニ於テハ凡爲替手形及其他ノ物品ニ對シテハ差留權ヲ有スレト

モ若シ特別ノ約束アリテ此權利ヲ制限シタルノ場合ヲ除キ凡テ之ヲ  
差押エルコトヲ得ルモノトス  
最早以上講述スル所ニ由リテ了知セラレシナランカスノ如ク差押ヲ  
可カラサル物品ハ必ス明示シタル約定ニ由ラサル可カラス例ヘハ從  
前ノ借金ニ對シテ一ノ約束手形ヲ差入レ其後ノ取引ニ於テ又借り分  
ノ多カリシ時ト雖モ銀行ハ爲メニ右ノ手形ヲ差押ヘント欲スルモ得  
ヘカラサルナリ此ニ於テカ通常商賣人ノ有スル差留權ト銀行ノ有ス  
ル差留權ト其異ナルノ點ヲ知ラサル可カラス此差異タル至ク抵當ニ  
取ル物品ノ性質ニ由リテ生スルモノニシテ若シ銀行ノ差押ヲ爲シ能  
ク可キ物品ニ付テハ當ニ之ヲ差押フルメニナラス期限至レハ其手形  
ヲ取立ルノ權利アルモノトス何トナレハ銀行ハ爲替手形或ハ約束手  
形ヲ預ルトキハ他ノ人ト同シク其手形ヲ流用スルコトヲ得若シ其處



置振ヲ附ケサルトキハ流通スヘキ手形モ無用ニ屬スルニ至ルヲ以テ  
 之レカ處置ヲ爲シ得ルヤ勿論ノコトナリトス蓋手形ヲ有スル銀行其  
 期限至レハ郵便ヲ以テ先方ニ通知ヲナシ先方ノ者モ又其前人ニ通知  
 スルコトハ是レ銀行ノ手形ニ盡ス可キ當然ノ業ナレハナリ何故トナ  
 レハ其理由ニニアリ第一ハ古來ノ慣習ニ由リ第二ハ保證契約ニ由ル  
 モノ是ナリ  
 第一 爲替手形ハ引受人ニ金ヲ貸シタルコトアルヨリ來ルモノナレ  
 ハ振出人ハ自身ニ損害ヲ招カサル様注意シ相當ノ手續ヲ盡スコト肝  
 要ナリ  
 第二 第一裏書人第二裏書人第三裏書人ト同シク其手續ヲ盡ス可キ  
 モノナルヲ以テ先其期限ノ經過セサル中ニ銀行ハ其手續ヲ盡サシム  
 ル様相當ノ處置ヲナスヘキモノナリ

銀行ノ此權利ヲ有スル理由ハ預ケ主ノ害トナリ又銀行ノ害ヲ防クニ在リ即チ預ケ主ノ手形ヲ受取ラサル時ハ從テ銀行モ亦之ヲ受取ルコト能ハス又銀行ニ於テ貸渡シタル所ノ金ノ戻ラサル時ハ銀行ノ損トナル者ナレハ銀行ハ差留權ニヨリ此處分權ヲ有スル所以ナリ是ヲ以テ銀行ハ所持人ノ位置ニ立テ爲替手形ヲ執行スル事ヲ得ル者トス上來述フル所ハ銀行ノ有スル差留權ノコトナリ此ハ衡平法ノ理論或ハ判事ノ判決例トヲ併セテ此ニ至ルマテ發達セシ規則ニシテ其效力タル立法官ノ制定セシ法律ニ勝ルモ劣ラサルモノニシテ之ト同様ノ力ヲ有スルモノナリ銀行差留權ノ規則タル實ニ右ノ發達法ニヨリ此ニ進ミ來リシモノナリ

元來衡平法ハ理論ニ合フタル數多ノ裁判例ヨリ出テシモノニシテ此裁判例タル終身法律ノ實行ヲ業トシ且裁判官ノ職ニ居リシ人ノ作レ

ルモノナリ則チ商賣ノ日チ追フテ盛ニ赴クヲ見テ判事ハ習慣法ヲ基  
礎トシテ規定シタルモノナレハ立法者ノ制定シタルモノヨリモ全キ  
所アル可シ何トナレハ常ニ法律ヲ執リ扱ヒ實地裁判ヲ行ヒ居ル判事  
人作リシモノナレハナリ差留權ノ賦與スルハ實ニ古ノ習俗ニヨリ其  
今衡平法上ノコトチ此ニ講スルノ暇ナケレハ畧ス次回ニハエグイテ  
ブルリエンノコトチ講セン此大切ナルコトニニアリ第一物チ賣リシ人  
代金チ受取ラサル下キハ其賣リシ物品ニ對シテ差留權アルコト、第  
二ニハ航海中ニシテ未タ其物品ノ買主ニ渡ラサル物ニ付テ途中ニテ  
之チ差押ヘ差留權チ行フコト是ナリ其後詳マ言ハス所以チ是レ  
本回ニ於テ銀行者差留權ノ規則チ講スル所以ハ先回以來今日ニ至ル  
マテ堅苦シキ習慣法ノコトチ述ベ來リシカ凡ソ國ノ隔ケルニ從テ法  
律モ進ミ遂ニ衡平法上ノ差留權ノ規則チ生スルニ至レリ而シテ銀行

第五回

差留權ナルモノハ全ク習慣法ヨリ衡平法ニ進ム進路ノ間隙ニ生シタルモノナレハ慣習法ヨリ衡平法ニ遷ルニ際シ之ヲ講スルハ唯之ヲ解シ易キノミナラス併セテ差留權法一般發達ノ順序ヲ示スニ足レハナリ

諸君以上ハ或職業ヲ爲ス人ノ有スルリ然ル即チばせつそりトリ然ルノコトヲ述ヘタレハ是ヨリ實地上最モ利益アル夫ノコトトねふるくいち」ノ判定ニ係ル然くいてトぶるり然ル」ノコトヲ講述スヘシ抑モ然くいてトぶるり然ル」ハばせつそりトリ然ル」ヨリ商業ニ利益ヲ與フルモノナリ何トナレハ信用ナルモノハ商業ノ骨髓トモ稱スヘキモノナレハ是ノ信用ヲ増スニ從ヒ商業モ進ミ然くいてトぶるり然ル」必要ヲ見ルハ自然ノ理ナレハナリ

原來是ノ「ゑくいて」ふるりゑんノ濫觴ハ「ゑくいち」裁判所カ裁判ヲ  
 爲スニ當リ左ノ二箇ノ原則ヨリ生出シタルモノナリ即チ第一ハ何事  
 ニ限ラス契約シタル事柄ハ實行ナキモ實行シタルモノ、如ク之ヲ取  
 扱フ「へシト」云フコト、第二ハ何人ニテモ公平ヲ得ント欲セハ自ラ公  
 平ヲ行フ「へシト」ノ普通法ヨリ進歩シタルモノヲ制作シタルモノナリ  
 「こんもんろ」裁判所ニ於テ「ばせつ」そり「りゑん」ヲ認メ救正ヲ與ヘタ  
 レトモ舊來ノ主義ニ依レハ「りゑん」ニハ必ス「ばせつ」しよん「チ必要トシ  
 タルヲ以テ其利益甚ク薄弱ナリシ則チ「りゑん」ニ付テ「こんもんろ」ト  
 「ゑくいて」ろ「ノ」二者ノ相異ナル點ハ「こんもんろ」ノ主義ニ於テハ  
 該引留ムヘキ物品ヲ「ばせつ」しよん「占有」スルヲ必要トシ「ゑくいて」ろ  
 「ノ」主義ニ於テハ「ばせつ」しよん「チ必要トセサルニアルナリ」  
 今日ハ不動産ニ關スル二種ノ「りゑん」ノコトヲ陳ヘン不動産トハ土地

5 Judgment Creditor's Lien.  
3 Unpaid Vendor's Lien.

建造物ヲ指スモノト知レバ可ナリ  
第一ノ種類ハ裁判ニ於テ勝ヲ制シタル人カ被告ノ有スル土地第三者  
ノ手ニ移リ第三者ハ實地通知ヲ得ルカ又ハ法律ノ知リタリト認ムル  
位置ニアル人ノ有スル物ニ對シテ「りゑん」チ有スルモノナリ  
第二種類ハ「あんぺいどべん」どるすりゑん」ト云ヒ不動産ノ賣手カ未ダ  
其代價ヲ受取ラサル中ニ得ルモノニシテ次ニ取引シタル權利者ニ對  
シ賣手カ受クル「りゑん」ニシテ其財産ヲ約因ナク受讓渡人又ハ第三者  
ニ與フルモ受權者カ先ノ代價支拂ナキコトヲ知ルカ又ハ法律ノ之ヲ  
認定スルカナルトキハ第一ノ賣手ハ此財産ニ對シ「りゑん」チ有スルモ  
ノトス  
固ヨリ裁判ニ勝チタル權利者又ハ賣手カ其財産ニ對シ「浮せつしよん」  
チ有スル間ハ「りゑん」チ有スルハ習慣法ニテモ認ムル所ナレトモ衡平

Judgment Creditor's Lien  
Liquor Vendor's Lien

法ニテハ己ニ財産他人ニ移リテモ尙ホ裁判執行者又ハ賣手ノ有スル  
 特別ノ性質アル「りゑん」チ有スト云フモ其性質ハ「りゑん」チ有  
 第一ニ謂フヘキハ裁判執行權利者ノ有スル「りゑん」ナリ其事タル廣ク  
 各國ニ行ハレスシテ英吉利法律中ニノミアルコトナレハ大體ニ基キ  
 説明シ諸君カ他日法律ヲ實地ニ應用スルニ當リ鑑定ヲ依頼セラレタ  
 ルニ際シ今聽講シテ得タル所ニ依リ取調ノ上之チ答フルチ得レハ可  
 ナルニヨリ大略ヲ示スニ止メシ  
 凡ソ權利者ハ裁判ニ勝チ制シタルトキハ之チ執行スル爲メ執行官吏  
 ニ宛テ、被告ノ不動産ニ對シ執行命令書ヲ得シト請求スルコトヲ得  
 ルナリ  
 英國以前ノ法律ハ不動産ニ對シテハ其不動産ノ半價ヲ超過シテ裁判  
 執行ヲ爲スコトヲ得ス其理由ハ昔時封建ノ制ニ基キ土地ヲ有スルモ

ノハ國王ノ領地ノ一部分ヲ得ル者ニテ其代リニ軍役ニ服スル義務ヲ  
負擔スルモノナレハ若シ裁判ノ執行ヲ土地ノ全部ニ及ホシ皆之ヲ失  
ハシムルトキハ軍役ニ服スル義務ヲ盡スヲ得サルヲ以テナリ原來斯  
クノ如キ理由ヨリシテ法律ハ之ヲ制シテ土地ノ讓渡ヲ爲スコトヲ禁  
シ債主ノ有スル權利ト雖モ服従ハ國民ノ大切ナルモノト云ヒ債主  
ヲ保護セリ然レトモ斯クノ如クシテハ債主ノ權利ヲ全フスルヲ得サ  
ルユヘ千四百三十年代ヨリ幾分カ債主ノ權利ヲ保護スルニ至レリ尙  
ホ進テ遂ニ債主カ負債主ノ有スル不動産ノミナラス該不動産ノ他人  
ニ渡ルモ其他人ニ對シテ裁判ノ執行ヲ盡スヲ得ヘシトセリ何トナレ  
ハ裁判ノ言渡ハ公然ノ事ニシテ何人モ知ルヲ得ルモノユヘ其言渡ア  
リタル財産ヲ買取リタルモノハ返還セサルヘカラストノ法理アレハ  
ナリ



此ノ如ク政府ハ權利ヲ保護セントシ立法司法ニテモ爲サント云ヘル  
 モ買手ハ不都合コヘ法律家ハ「あんべやんさる」ナル陰制ノ一ナル「あん  
 もんれかバリー」す「ヲ設ケ夫ノ「りゑん」ノ爲メニ妨ケラレスト云フコト  
 ナ考出セリ而シテ「あんもんれかバリー」ノコトタル餘リ必要ナケレハ  
 之ヲ云ハサルヘシ  
 古來ヨリ種々ノ變化アリタレトモ當御宇第一年ナル一千八百三十一  
 年立法院ハ法律ヲ設ケ特別ノ式ニ依リ發記セハ現ニ負債主ノ有スル  
 モノハ勿論何人ノ有スル負債主ノ財産モ一切債主ハ之ヲ取押ユルコ  
 トヲ得ルコト、セリ然リ而シテ此布告ノ結果ハ二アリ第一ハ不動産  
 ノ全体ニ關シ執行スルコト第二ハ裁判ヲ登記セハ「りゑん」ヲ得ルコト  
 是レナリ此ノ法律段々變化シ千八百六十年及ヒ千八百六十二年ノ法  
 律ニテ裁判ヲ登記スルノミニテハ不可ナリ執行狀モ共ニ登記シテ五

年毎ニ改正スヘシト債主ノ權利ヲ狭少ニセリ故ニ若シ此意味ニ依レ  
ハ買手ハ「りゑん」ヲ有スルモノアルヲ知ラス(善意)シテ不動産ヲ買ハ  
トセハ先ツ裁判所ニ至リ務ムヘキハ該不動産ニ就キ裁判及ヒ裁判執  
行狀ヲ登記シタル上取引シテ買フモノナレハ縱令他ニ「りゑん」ヲ有ス  
ルモノアルモ飽マテ法律ノ保護ヲ受クルモノナリ若シ買手ニ於テコ  
ノ穿鑿ヲ爲サ、レハ其穿鑿ヲ爲サ、リシハ該財産ニ對シ「りゑん」ヲ有  
スルモノアルヲ知リツ、買ヒタルモノナリト法律ハ認メテ「りゑん」ヲ  
保護スヘシ

千八百六十四年ノ法律ニテ動産ニ對シテモ前ト同シキ方法ヲ設ケタ  
リ則チ銀行會社ノ株券ノ如キハ凡ソ負債主ノ名義ヲ以テ又ハ負債主  
ノ爲メニ或者ノ有スル株券ニ付テハ英語ニテ「ずどつどるどる」ト名  
ツクル命令書ヲ受ケテ之ヲ他ニ動スチ禁スルヲ得ヘキナリ

「すどつぶをるどる」ノ効力ハ確定不動ノモノナレハ株券所有者又ハ名  
 義者ハ銀行ニ頼ミ來ルモ之ヲ動スチ得サルナリ乍然不動産ニ對スル  
 執行狀ハ該「すどつぶをるどる」ノ効力ニ及ハサルナリ原來地券ノ如キ地  
 券證書ハ負債主ノ手ニ在ル間ハ幾分カ其財産ヲ他ニ動スチ得ル便ア  
 ルモノナリ故ニ裁判執行狀ノ「りゑん」ハ裁判所ニ至リ吟味セサルヘカ  
 ラス好シヤ吟味スルモ能ク吟味セサレハ「りゑん」ヲアルチ知リツ、買  
 タルモノト認メラル、ユヘ登記チ吟味スルコト必要ナリ  
 右ハ名ケテ裁判執行權利者ノ「りゑん」ト云フモノナリ然リ而シテ登記  
 シタル上ハ二十年間ハ債主權ヲ執行スルチ得ルハ當然ナリ夫ノ登記  
 セサルモノハ登記シタルモノヨリ該財産ニ對シ後ニ廻サル、不利ア  
 ルチ以テ登記チ爲スコトハ實ニ必要ナリトス  
 以上ハ裁判執行權ヲ有スル人ニ對スル「りゑん」ノコトヲ陳ヘタリ是ヨ

リ不動産ニ對スル第二ノ種類ノコトヲ云ハントス英語ニテ之ヲ「めん  
ペーどべんどるすりゑん」ト云フ  
英吉利法律ニ依レハ不動産ヲ讓渡サント欲セハ蠟印證書ヲ作リテ「  
んべやんす」即チ引渡ノ手續ヲ履マサルヘカラス而シテ蠟印證書ニハ  
如何ナルコトヲ記セサルヘカラサルカト云フニ（第一）取引ヲ爲ス人ノ  
姓名住所資格（第二）取引ノ理由（第三）約因（これれ「しよん」即チ如何  
ナル價格ニテ讓渡スヤヲ記セサルヘカラス（第四）財産中ノ如何ナル權  
利ヲ讓渡スヤ即チ例ヘハ幾年間讓渡スヤヲ記セサルヘカラス（第五）讓  
渡ス不動産ハ如何ナル廣狹區域ナルヤヲ記ス（第六）讓受人ハ此財産ニ  
對シ如何ナル權利ヲ得ルヤヲ記載ス（第七）讓受人若シ第三者ノ爲メニ  
財産ヲ讓受ケタルモノナルトキハ之ヲ記ス（第八）讓渡人ハ讓受人ニ一  
切迷惑ヲ掛ケサルコトヲ記ス

「こんべやんす」ノ式ニ付キ大切ナルハ「こんしどれーしよんくろーす」即チ代價ヲ受取リタルコトヲ記入スルノ部ニシテ通常證書ニ裏書スルモノナリ其裏書ハ千八百八十二年及ヒ三年ノ布告ニテ不用トナリシモ其以前ハ若シ裏書ナキトキハ果シテ價ヲ拂ヒシモノナルヤ否ヤ全ク權利者トナリシモノヨリ取調フル義務ナリシ若シ讓受人此裏書ナキニ財產ヲ受取リタルトキハ其人タル其代價ヲ拂ハサルヲ知リツ、買取タルモノト法律ハ認メシナリ縱令「こんべやんす」ニ「こんしどれーしよんくろーす」ヲ記シ又ハ裏書アルモ實際代價ヲ受取ラサルトキハ該財產ノ買手又ハ相續人ニ對シ「りゑん」ノ權ヲ有スルモノナリ（則チ「りゑん」ノアルコトヲ實地知リテ之ヲ有スルモノナリトセハ此場合ニテハ知リタル買手ハ財產ヲ有スルヲ得ルモ第一ノ賣手ハ「りゑん」ヲ有スルニ止ルナリ乍然代價ヲ幾分カ拂ハサルニヨリ書入ノ抵當ヲ取ル

差留権/リッチフィールド(講義)；増島六一郎(訳述)；  
山口正毅(編輯)

(英吉利法律講義録(1886(明治19)年度 第1年級))

53 ページ以降の講義録(37号以降)は非所蔵